

## エシカル“消費”を超えた新しい概念 社会経済システムの進化形「エシカル経済」を解説

千葉商科大学ウェブメディア「MIRAI Times」で連載中!

千葉商科大学(学長:原科幸彦)は、「社会の未来を育てる」をコンセプトとしたウェブメディア「MIRAI Times」に、「エシカル経済～アフターコロナの世界を動かす新しい原理～」と題した連載記事の第2弾を公開しました。

人、社会、環境にやさしい商品やサービスを選ぶ「エシカル消費」が注目されています。この考え方をさらに進化させ、原料や素材に始まり、生産、流通、販売、消費へと至る経済の仕組み全体を「エシカル」に。限りある地球の資源を未来へつなぐため、あたかも植物や動物のように輪廻転生する新しい社会経済システムを創りたい。そんな発想をもとに、この連載ではパーソナルファイナンス、サステナブルファイナンス等が専門で、ESG投資にも精通している千葉商科大学人間社会学部の伊藤宏一教授が構想する「エシカル経済」について紐解きます。

### 【連載第2弾】なぜ今『エシカル』なのか？

伊藤教授が提唱する「エシカル経済」。その土台となる「循環」と「共有」の理念はすでに近代以前の日本や西欧の社会に根つき、現代にも通じる「持続可能な社会の仕組み」として機能していた。連載第2弾では、その源流を訪ね、これからの社会や経済がエシカルでなければならない理由について考える。

※記事本文をぜひご覧ください。

[https://www.cuc.ac.jp/om\\_miraitimes/special/u0h4tu0000002wf4.html](https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/special/u0h4tu0000002wf4.html)



### 伊藤宏一(いとう・こういち)

人間社会学部教授。日本FP学会理事。NPO法人日本FP協会専務理事。「金融経済教育推進会議」(金融庁・金融広報中央委員会等で構成)委員。(一社)全国ご当地エネルギー協会監事。専攻はパーソナルファイナンス、サステナブルファイナンス、金融教育、ライフデザイン論。著書等に「サステナブルファイナンスと個人の資産形成」(『FPジャーナル12月号』日本FP協会2021)、「人生100年とライフプラン3.0」(『月刊企業年金』2017)、『実学としてのパーソナルファイナンス』(編著中央経済社)、H・アーレント『カント政治哲学の講義』(共訳 法政大学出版局)、アルトフェスト『パーソナルファイナンス』(共訳 日本経済新聞社)など。

「MIRAI Times」では、SDGs 推進に力を入れる本学が、持続可能な社会の未来を育てるために、知りたいこと、知っておいた方がいいことを分かりやすく伝えていきます。

「MIRAI Times」 [https://www.cuc.ac.jp/om\\_miraitimes/](https://www.cuc.ac.jp/om_miraitimes/)

千葉商科大学 MIRAI Times

検索

### 【報道関係者の皆様へ】

「MIRAI Times」の記事テーマに関する教員や学生へのご取材については  
お気軽にお問い合わせください。

【本件に関するお問い合わせ先】 千葉商科大学 戦略広報室(学校法人千葉学園 経営企画部)

TEL: 047-373-9968 / E-mail: p-info@cuc.ac.jp